

しろいし

shiroishi city council paper

市議会だより

2021年
SPRING 春
第201号

4月にリニューアルオープンした益岡公園野球場



4月3日落成式 テープカット

2～3P 2月定例会の概要・審議した議案
4P 第六次白石市総合計画審査特別委員会
5～7P 予算審査特別委員会
7～8P 常任委員会

8～9P 討論
10～15P 市政に対する一般質問(11名)
16P 人事・議会の活動状況・編集後記

2月定例会

令和3年度一般会計当初予算 145億118万4千円を可決

令和3年2月定例会は、2月17日から3月10日までの22日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事2件、専決1件、条例等15件、予算12件の計30件でした。

定例会初日、市長の施政方針を受け、その後、全ての議案の提案理由の説明がなされ、このうち第1号議案は質疑の後、採決の結果、賛成多数で同意、第2号議案および第3号議案は質疑の後、採決の結果、全会一致で同意・承認しました。

同日、議会運営委員会委員長より、議員提出議案である議提第1号が上程され、提案理由の説明を経て、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

2日目、第4号議案から第30号議案までの質疑が行われ、第14号議案については総務産業建設常任委員会に、第18号議案については第六次白石市総合計画審査特別委員会に、予算の12議案は、予算審査特別委員会にそれぞれ審査が付託されました。その他の議案は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、3月5日・8日・9日の3日間で、11名の議員が質問を行いました。

定例会最終日(3月10日)の本会議において、各委員長報告を行なった後、第25号議案については、反対および賛成の討論があり、採決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

また最終日に、市長提出議案2件(第31号議案および第32号議案)が追加提案され、質疑を経て、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎未来を拓く学校教育充実化条例

人口減少やグローバル化、情報化の進展といった社会の変化に柔軟に対応し、自ら未

来を切り拓き、激動する社会を生き抜いていく力を身に付けていくことができるよう、市や教育委員会、学校が一体となって子どもたちの育成に努める必要があることから、本市における学校教育の基本理念を定め、市長教育委員会・学校の責務を明らかにするとともに、学校教育に関する

2月定例会で審議した議案

議案番号	件名	審議結果
第1号	市長提案 教育長の任命について	同意
第2号	市 長 提 案 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第3号	専決処分承認を定めることについて(専決第1号) (令和2年度白石市一般会計補正予算)	承認
第4号	組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
第5号	白石市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第6号	白石市道路占用料条例の一部を改正する条例	原案可決
第7号	白石市公共物管理条例の一部を改正する条例	原案可決
第8号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第9号	白石市材木岩公園等設置条例の一部を改正する条例	原案可決
第10号	白石市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
第11号	白石市企業立地促進条例の一部を改正する条例	原案可決
第12号	白石市東日本大震災復興基金条例を廃止する条例	原案可決
第13号	しろいし Sun Park 基金条例	原案可決
第14号	白石市景観条例	原案可決
第15号	未来を拓く学校教育充実化条例	原案可決
第16号	白石市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
第17号	白石市精神障害者小規模通所授産施設条例の一部を改正する条例	原案可決
第18号	第六次白石市総合計画基本構想及び基本計画の策定について	原案可決
第19号	令和2年度白石市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
第20号	令和2年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
第21号	令和2年度白石市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
第22号	令和2年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	原案可決

重点施策などを定めるため、新たに条例を制定するものです。

◎白石市介護保険条例の一部を改正する条例

令和3年度から令和5年度までの第8期介護保険事業計画において、標準段階における介護保険料を、年額6万4千800円から6万7千200円に改め、また、各段階の保険料も介護保険法施行令による率に合わせるため、条例の一部を改正するものです。

予 算

◎令和2年度白石市一般会計補正予算(第9号)

これまでの歳入歳出予算からそれぞれ9千469万9千円を減額し、予算総額を199億1千941万2千円とするものです。



◎令和3年度白石市一般会計予算

予算総額は、145億118万4千円で、前年度と比較すると2.8%の増となります。

主な内容は次のとおりです。

○白石学びの環境づくり事業(学力向上プロジェクト事業の充実) 1千32万5千円

○外国語・国際理解教育推進事業 3千251万7千円

○スマートインターチェンジ整備事業 7千708万6千円

○公園施設長寿命化対策支援事業 4千20万円

○武家屋敷茅屋根葺き替え事業 1千182万5千円

○まちづくり推進事業

(まちづくり交付金・地区計画策定支援) 867万2千円

本会議質疑より

◎令和3年度白石市一般会計予算

〔質疑〕令和3年度当初予算について、新型コロナウイルスの影響などで市税の減額も見込まなければならぬような大変厳しい状況下で、どのような基本方針の下に編成されたのか伺う。

〔答弁〕令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済の低迷により、非常に厳しい財政状況が見込まれることから、職員一人一人がこの状況を認識し、財源不足の解消に向け、危機感を持って取り組む必要があった。

また、新たに作成される第六次白石市総合計画、第2期白石市まち心と・しごと創生総合戦略を着実に実行するよう、予算編成方針として、義務的経費を除く経費については、事業の必要性、緊急性などを再度検証し、ゼロベースから徹底

第23号	令和2年度白石市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
第24号	令和2年度白石市下水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
第25号	令和3年度白石市一般会計予算	原案可決
第26号	令和3年度白石市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第27号	令和3年度白石市介護保険特別会計予算	原案可決
第28号	令和3年度白石市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第29号	令和3年度白石市水道事業会計予算	原案可決
第30号	令和3年度白石市下水道事業会計予算	原案可決
第31号	令和2年度白石市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
第32号	令和3年度白石市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
第1号	白石市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決

議員提案

した見直しを行い、歳出の抑制、債務の軽減、収入の確保などに「しろいし」の実現とともに、選り組み、収支の均衡を目指すとともに、経常経費の削減、事業の効率化を進め、持続可能な財政構造の構築を図るよう取り組み、編成したものである。



「シビックプライドとは？」

まちに対する市民の誇りとして、郷土を愛する気持ちだけではなく、まちを構成する一員、まちづくりを進める主体としての自負心などを指します。

第六次白石市総合計画審査特別委員会

第18号議案・第六次白石市総合計画基本構想及び基本計画の策定について、定例会2日目(2月24日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する第六次白石市総合計画審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・佐久間儀郎、副委員長・高子秀明)は、2月25日に審査を行い、採決の結果、第18号議案は全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎第六次白石市総合計画基本構想及び基本計画の策定について

第1部 序論について

〔質疑〕第五次白石市総合計画を踏まえ、今回の総合計画策定にあたっての思いを伺う。

〔答弁〕第五次白石市総合計画においては、それぞれの地域が主体となってまちづくり宣言を策定いただいたが、今回、各地域において、その宣言を再検証し、新たに宣言を策定いただいたところが非常に大きいと感じている。

〔質疑〕第五次白石市総合計画策定にあたっての思いを伺う。

〔答弁〕令和2年12月1日から21日までの期間、実施したパブリックコメントにおいては「本市の歴史遺産や伝統文化などを保存、継承していくとともに、貴重な文化財などが市外へ流出しないための施策をお願いしたい」

「賑わいの創出として、交流人口、関係人口などの拡充や定住人口を増やすための施策を実施してほしい」「各地区ワークシヨップなど地域ごとの地域づくりを進めてほしい」などの意見をいただいた。

第2部 基本構想について

〔質疑〕まちづくりの基本的視点の中で「新しい価値の創造」が挙げられているが、この新しい価値とは具体的にどのようなものか。

〔答弁〕本市は、それぞれの地域によって素晴らしい資源、歴史的な遺産、文化、伝統などさまざまなものが継承されているが、その原点は人だと考えている。

それぞれの地域の皆さんが地域のためにアイデアを出し、行動し、それが新しい価値となり、地域の活性化に大きく寄与していくと考える。

新しい価値を発見、発掘し、それを育てていくことが今後10年間、重要になってくるということから位置づけさせていただいたものである。

第3部 基本計画について

〔質疑〕第六次白石市総合計画では、地域力の向上が大きなテーマとして挙げられている。

基本計画の中では、地域マネジメントをリードする人材育成の取り組みとして、集落支援員制度活用の検討が挙げられているが、その具体的な内容を伺う。

〔答弁〕集落支援員制度は、地元の中から地域づくりのリーダー的存在となる方を任命し、その方を主体として地域づくりを進めていくための国からの支援制度である。

今後、地域づくりを進めていく上でも有効な制度と思われるので、導入の有無や効果的に活用できるかなどを検討し、必要であれば活用していきたいと考えている。

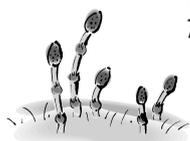
第4部 地域づくり計画について

〔質疑〕地域づくり計画における白石東地区、白石西地区に

ついて、白石地区の皆さんは、自治会の住民としての意識はあると思うが、東地区、西地区という意識は少ないと思う。そのような中で、この区分けにより地域づくり計画を策定することとした理由を伺う。

〔答弁〕白石地区については、例えば、東地区は、新興住宅地があり比較的若い世代が暮らしているのに対し、西地区は、昔からの町並みとして年齢の高い世代が多く暮らしているなど、地区の傾向が異なっていたことから、今回、二つに分けた形でまちづくり宣言を策定いただいた。

自治会連合会白石支部や地域の方々ともお話をさせていただき、白石地区二つというよりは、まずは大きく二つに分けて、それぞれの地区の特性と課題を検証し、まちづくりを進めていくことが効果的であると判断したことから、このように策定した。



予算審査特別委員会

第19号議案・令和2年度白石市一般会計補正予算(第9号)から第30号議案・令和2年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案について、定例会2日目(2月24日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・平間知一、副委員長・角張一郎)は、3月1日に現地を調査し、同日および3月2日の2日間にわたり審査を行いました。その結果、第25号議案・令和3年度白石市一般会計予算については、反対の討論があり、採決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和2年度白石市一般会計補正予算(第9号)

農林水産業費

〔質疑〕おもしろいし市場の土地購入について、詳細を伺う。

〔答弁〕今回購入しようとする土地は、しろいしサンパークとJA

みやぎ仙南白石支店を結ぶJAみやぎ仙南所有の用地で、当初は令和2年4月から賃貸借契約により借りて予定であった。

衛生費

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、グラントオーブンが9月となったため、賃貸借契約の延期を認めていただき、その後、再度、売買の協議を行なったところ、合意をいただいたことから、このたび用地を購入しようとするものである。

〔質疑〕各種検診の業務委託料が減額されていることについて

て、新型コロナウイルスの影響で受診者が減少していることもあると思われるが、この状況をどのように分析しているか伺う。

〔答弁〕各種検診事業については、子宮がん検診、胃がん検診などの受診が少なくなっている。

例年、受診率が思うように上がっていない状況に加え、新型コロナウイルスの影響で、密を避け、医療機関や集団検診などに行くのをためらう方もいたのではないかと思われる。

市としては、広報紙などでの周知に努め、検診の種目によつては、未検者に再度通知をすることで検診の呼びかけを行なっているが、今後ともコロナ禍であっても、がん検診などの健康対策は必要であるというこを、更に周知していきたい。

◎令和3年度白石市一般会計予算

総務費

〔質疑〕オリンピック推進事業費として1千404万円が計上されているが、コロナ禍の中、どのような事業計画を考えているのか伺う。

〔答弁〕オリンピックが完全な形で行えるという想定の下に予算を組んでいるが、予定している事業としては、ベラルーシ新体操ナショナルチームの事前合宿、パブリックビューイング(大型スクリーンでの観戦)、応援ツアーを予定している。

ただ、オリンピックの開催状況によつて、変更があれば、観客の制限なども含めて事業を変更し、対応していきたいと考えている。

〔質疑〕ベラルーシとの連絡調整の状況について伺う。

〔答弁〕ベラルーシの新体操ナショナルチームは、第1次希望として、白石市で事前合宿したいとの意向を示している。

現在、国の指導により新型コロナウイルス関係のマニュアルを作成していることから、出来

上がり次第、再度その状況の遵守も含め、実際に事前合宿が可能か最終調整を行なっていく。

民生費

〔質疑〕高齢者等安心見守り事業委託料について、詳細を伺う。

〔答弁〕独り暮らしの高齢者宅に緊急通報端末、安否確認センサーを設置するなど見守りを行なっていく事業で、利用状況は、12月時点で45台設置し運用している。

商工費

〔質疑〕白石スキー場の貸付金として1千500万円を計上しているが、今年は雪が降った方、コロナ禍の影響もあったことと思う。

今年度の状況について伺う。
〔答弁〕今年は雪に恵まれ、スキー場ではコロナウイルス対策もしっかりと行なっていることか

ら、だいぶ利用者が増えている。ただ、土・日曜日に風が強いという状態が続き、リフトの運行に支障を来すこともあった。貸付金については、積雪の状況により、貸付額を減額することも考えている。

土木費

〔質疑〕大規模盛土造成地変動予測調査業務について、詳細を伺う。

〔答弁〕この調査は、阪神・淡路大震災や新潟中越地震、東日本大震災などの際、盛土した造成宅地で崖崩れや土砂が流出する被害が生じたことから、災害を未然に防ぎ、軽減することを目的に、大規模盛土造成地を把握するため実施するものである。

本市においては第1次スクリーニングにおいて6団地を調査し、そのうち4団地8カ所が大規模盛土造成地と判明しており、これを基に、盛土工の安定性調査、第2次スクリーニン

グ計画作成を行うこととしている。なお、調査の結果、危険との判断が出れば、防災区域の指定や宅地造成工事規制区域内の勧告などを行い、滑動崩落防止工事を実施することとなる。

〔質疑〕2月13日の福島県沖を震源とする地震において、大規模造成地である第1城南地区の宅地法面が大幅に崩落した。被災された方に対する国からの助成措置はないのか伺う。

〔答弁〕市として要望しているが、今回の地震については、激甚指定にならないとのことから、10年前の東日本大震災のような国からの助成措置は見込めない状況である。

教育費

〔質疑〕学力向上の施策として、ここ数年、学力調査を委託して実施しているが、現在の状況をどのように考えているか伺う。

〔答弁〕令和2年12月に行なっ

令和3年度 一般会計予算

(単位：千円・%)

歳 出		予 算 額	構 成 比
款 別			
1. 議 会 費		166,453	1.15
2. 総 務 費		2,600,849	17.94
3. 民 生 費		5,170,636	35.66
4. 衛 生 費		1,439,876	9.93
5. 労 働 費		1,636	0.01
6. 農 林 水 産 業 費		404,784	2.79
7. 商 工 費		508,806	3.51
8. 土 木 費		1,297,844	8.95
9. 消 防 費		496,004	3.42
10. 教 育 費		1,213,976	8.37
11. 災 害 復 旧 費		2,987	0.02
12. 公 債 費		1,182,225	8.15
13. 予 備 費		15,108	0.09
合 計		14,501,184	

令和3年度 各会計予算

(単位：千円・%)

会 計 別	令和3年度 予 算 額	令和2年度 予 算 額	令和2年度 当初予算比	
一 般 会 計	14,501,184	14,105,111	2.8	
特 別 会 計	8,022,064	7,907,129	1.5	
会 計 内 訳	国民健康保険	3,677,640	3,793,756	△ 3.1
	介護保険	3,933,659	3,704,716	6.2
	後期高齢者医療	410,765	408,657	0.5
合 計	22,523,248	22,012,240	2.3	

企業会計			
	令和3年度 予 算 額	令和2年度 予 算 額	令和2年度 当初予算比
水 道 事 業 会 計	1,153,316	1,278,767	△ 9.8
下 水 道 事 業 会 計	1,845,429	1,799,783	2.5

※企業会計については収益的支出+資本的支出額

た調査の結果では、義務教育のクルの他、埼玉県と共同で実施最終段階である中学3年生にしている一人一人を伸ばすという、市内の平均が英語、数う方法が、少しずつ成果を見せ学、国語3教科とも全国平均ているものと考えている。を上回った。

他の学年については、また課題は残っているが、取り組み始めた頃と比べると、どの教科も改善が見られている。

これは、学力のPDCAサイ

令和3年度白石市介護保険特別会計予算

〔質疑〕地域密着型介護予防サ

ービス給付金について、前年度より予算が大幅に少なくなっ

ている理由を伺う。

〔答弁〕地域密着型介護予防サービス給付金は、要支援者が対象であり、要介護者に比べると人数が少なく、サービスの必要性を感じていない方もいるといったことから、今回少なくなっている。

一方で、要介護者への予算は増えている状況である。

◎令和3年度白石市水道事業
会計予算

〔質疑〕仙南仙塩広域水道の給水計画による受水と自己水源の割合を伺う。

〔答弁〕年間の総給水量386万5千立方メートルのうち、仙南仙塩広域水道からの受水量として168万5千立方メートルを見込んでいるため、割合にすると受水が約4割、自己水源が6割となっている。

◎令和3年度白石市下水道事業会計予算

〔質疑〕(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺の下水道整備に係る基本計画変更業務委託料について、詳細を伺う。

〔答弁〕公共下水道南側は、現在の給食センターまでが処理区域となっている。

今後、スマートインターチェンジの整備に伴うエリア拡張には変更手続きを踏む必要がある。

このことから、県とも調整しながら計画変更を進めていくため、業務委託を行うものである。



予算審査特別委員会の現地視察 (左:スマートインターチェンジ予定地 右:ホワイトキューブ)

第447回 市議会定例会予算審査特別委員会 (3月2日) 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	委員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			高子 秀明	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	欠 番	沼倉 啓介	高橋 鈍斎	小川 正人	平間 知一	保科善一郎	佐久間儀郎	四竈 英夫	大森 貴之	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
第25号議案 令和3年度白石市一般会計予算		原案可決	×	×	×	○	△	×	×	△	委	×	○	○	○	○	○	欠	○	○

※「○」⇒賛成した委員、「×」⇒反対した委員、「欠」⇒欠席した委員、「委」⇒委員長のため表決に加わらない
※予算審査特別委員会は議長を除く全議員で構成される

常任委員会

第4号議案から第17号議案までの計14議案について、定例会初日終了後、各常任委員会(付託協議)を開催し、第14号議案・白石市景観条例を総務産業建設常任委員会に付託することに決定しました。

定例会2日目(2月24日)の本会議において質疑が行われた後、総務産業建設常任委員会に審査が付託され、3月3日に議案の審査が行われました。

質疑応答を経て、採決の結果、第14号議案は、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な内容は次のとおりです。

総務産業建設常任委員会

制定するものである。

委員長 菊地 忠久

副委員長 森 建人

委員 澁谷政義・高橋鈍斎

小川正人・保科善一郎

大森貴之・角張一郎

市として、市民や事業者に対して、どのように景観を保全していくべきかを誘導していくことを趣旨としている。

◎白石市景観条例について

〔質疑〕この条例制定の趣旨は、どのようなところか。

〔答弁〕この条例は、宮城県が仙南広域景観計画を策定したことに伴い、仙南2市7町が景観行政団体に移行したことから

〔質疑〕景観計画区域として白石市中心部、小原(小原温泉、材木岩周辺)、鎌先温泉、七ヶ宿湖・七ヶ宿街道の4つの区域が指定されているが、これらの区域が指定された経緯や理由を伺う。

〔答弁〕この景観計画区域は、

宮城県が仙南2市7町と協議した上で指定したものである。

各市町において「どのような景観を守っていくべきか」を念頭に「地域の方に景観を守るといふ意識を持っていた」といふ観点から設定しているため、エリアとしては広範囲で指定されている。

〔質疑〕届出の対象となる建築物や工作物の規模は、どのような根拠で設定されたのか。

〔答弁〕届出の対象となる規模の設定にあたっては、宮城県が実情を調査し、住民の生活に大きく影響が出ないような基準を設けている。一般家庭における建て替えや新築といった場合においては、この基準はほとんど該当しないと判断されたことから、今回この規模として設定されたものである。

〔質疑〕条例第3条第3項において「市民及び事業者に対し、景観形成に関する情報提

供その他必要な施策を講じなければならない」と定めているが、どのような情報提供や施策を考えているのか。

〔答弁〕本年7月1日の条例施行に向けて、市民の意識を高めていくために、現在、市のホームページや広報しろいしなどによるお知らせを準備している。

今後周知を図り、景観形成に関する知識の普及や意識の啓発に努めていきたいと考えている。

討論

◎第25号議案 令和3年度 白石市一般会計予算

予算審査特別委員会(3月2日)および定例会最終日(3月10日)において、第25号議案に対する討論が行われました。

定例会最終日に行われた討論の主な内容は、次のとおりです。

反対 保科 善一郎

反対の大きな理由として、白石市外二町組合の出資金・負担金補助金にある。

白石市外二町組合への繰出金が、昨年度と同額の予算となっており、このような予算では、病院経営が成り立つとは到底思えない。

平成29年度から令和2年度の期間は、国の指導で全国の自治体病院が、新改革プランに沿った経営改善に取り組む期間でもあった。その新改革プランは、本市も関与し、1市2町からの繰出金を14億円から16億円立てたものである。

しかし、平成30年度に新改革プランの繰出基準の見直しを行なったため、繰出金が大幅に減額となった。

令和2年度には、病院事業への繰出金の大幅な減額により、収益的収支で現金収支が3億円、資本的収支では5億円と、合計8億円余りの赤字予算編成となった。

そのため、令和2年度の刈田病院の決算見込み額は、健全化法の経営健全化基準の

20%以上を大幅に超える資金不足比率66.2%の見込みとなっている。

今回、病院が資金不足比率10%以内にするためには、18億4千万円以上の資金が必要となるが、資金不足比率20%以下にするためには、コロナ減収債12億5千万円を借り換えしても、病院全体では約3億2千万円が不足になり、本市からは約2億7千万円の資金が必要となる。そのため、昨年同様、今回も補正予算に計上されている。

また、3月の広報しろいしによると、現在、刈田病院は1カ月あたり約1億円の赤字を積み重ね、本年度は約14億円の赤字が見込まれており、金融機関からの借入れや構成市町からの借入金などを含めると、合計約33億円の債務に膨れ上がるとのことである。

しかし、この借金33億円には、国が支援策として打ち出した新型コロナウイルス減収債12億5千万円が含まれており、残りの20億6千万円は、過去3年間に於ける病院に対して

の出資金・負担金・補助金を減額したことによる債務である。

このような財政状況の中、今回の予算が、事前に病院幹部に十分に説明し、今後の対応策も含め、納得を得た上での予算だったのだろうか。病院は、多額の債務を抱えざるを得なくなり、銀行からの融資も難しくなっている現状である。

本市の財政が厳しいことは、十分に理解している。しかし、まちづくりの根幹である、市民の命と健康を守る公立刈田総合病院の経営の安定が求められているのではないだろうか。

現在、刈田病院へ通院している患者の皆さん、日夜、献身的に向き合っている医師、看護師、多くの病院職員の方々は、刈田病院の行く末に大きな不安を抱いている。

病院の経営の安定を願う市民の声も日に日に大きくなり、私自身もそう願う市民の一人である。

以上の理由から第25号議案に反対である。

賛成 四電 英夫

令和3年度一般会計予算案は、予算総額が145億118万4千円で、昨年度と比較すると28%の増となっており、6年ぶりにプラスの予算となっている。

歳出を見ると、保育所等整備事業、中河原白石沖線街路事業に係る経費などの減少はあるものの、ホワイトキューブZEB化推進改修事業、スマートインタールチェンジ整備に係る建設費、私立保育園や認定こども園の設立に伴う扶助費、ふるさと納税推進事業に係る経費などが増加している。

一方、歳入においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う景気の落ち込みや、施設利用の減少などの影響から、市税譲与税、各種交付金ならびに使用料および手数料は、前年度の当初予算額と比較して減額を見込んでいる。これにより財政調整基金繰入額は、前年度より1千800万円多い、1億7千300万円となっている。

このように、予算編成は大変厳しい状況にあるが、そのよう

な中、財政状況を踏まえつつ、持続可能な効率的で質の高い行政サービスを実現するため、集中改革プラン(第四次改訂版)に基づく行財政改革を引き続き実施し、選択と集中による、めりはりのある行財政運営に取り組もうとしている。

さらに、令和3年度から令和12年度までの10年を計画期間とする、本市の新たな最上位計画である「第六次白石市総合計画」を策定している。

第六次総合計画では、本市の目指す将来像を「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまちしろいし」と定め、市民一人一人がその個性や能力を発揮しながら、地域づくりの担い手として活躍することともに、新しい価値を創造し、まちへの誇りと愛着を持って暮らしていくことができるまちを目指していくこととされている。

山田市長は平成28年11月の市長就任以来、「市政課題を先送りしない」「将来世代にツケを残さない」という思いを胸に市政運営に当たられ、「市民の

笑顔あふれる白石」の実現に向けて、積極果敢にチャレンジしてこられた。

現在、全世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症への対策にあたっては、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、生活

支援と消費喚起を図るための施策や医療機関への支援など、「市民生活への支援」「雇用の維持と事業の継続」「感染拡大防止」を柱とした、本市独自の支援策に取り組んでこられた。

加えて、新型コロナウイルスワクチン接種に対応するため、令和3年2月1日には「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置し、市民へのワクチン接種を円滑に行うよう、迅速な体制整備をされている。

また、学校教育の充実において、自ら未来を切り拓き、社会を生き抜く力を持った児童生徒を育成することを目的として、「未来を拓く学校教育充実化条例」を提案された。市と教

育委員会、各学校が一体となって教育改革を進めていこうと

する姿勢が強く感じ取れる施策である。

まちづくりの推進においては、各地区で策定した「まちづくり宣言」の計画的な実現を目指し、地域づくりに関わる人材の育成と住民自治力の向上に向け、「地区計画策定支援交付金制度」を創設するなど、地域への新たな支援策が盛り込まれている。

「ふるさと納税寄附金」は、令和2年度の受入額が5億円を超える見込みで、収入増対策が功を奏しており、令和3年度においても返礼品の充実、手続

きの効率化を図りながら、本市の魅力を発信することで、交流人口や関係人口の拡大と市の貴重な財源として大いに期待できる。

さて、現在、本市では公立刈田総合病院の経営に関する問題が、解決すべき喫緊の課題である。

昨年の白石市長選挙において、山田市長は、公立刈田総合病院の経営改善、そして、診療機能を充実させるための手段

として、経営形態の変更、公設民営化を二丁目一番地として公約に掲げ、当選された。

公立刈田総合病院の経営を改善し、住民にとって真に必要なとされる病院、安心して医療が受けられる病院となるため、私たち議員は市長と同様、将来世代に対し責任ある決断をしなければならぬ。

この他にも、本市が取り組むべき課題は山積している。スマートインタールチェンジと周辺整備ならびに企業誘致、教育改革や健康寿命の延伸、そして災害に強いまちづくりの推進など、限られた財政の中で、未来を見据えた施策を打っていかねばならない。

よって、「第六次白石市総合計画」を着実に推進し、さまざま分野で独自性を持った事業を展開することで、白石市が「持続可能なまち」となり、「選ばれたまち白石市」となるべく令和3年度一般会計予算案に賛成するものである。

以上の理由から第25号議案に賛成である。

市政に対する一般質問

11名の議員が質問

2月定例会の一般質問は、3月5日・8日・9日の3日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。(今回より議会運営の充実を図るため、日程を3日間に増やしています。)

佐久間儀郎 令和3年度施政方針について

高子 秀明 令和3年度施政方針について

松野 久郎 令和3年度施政方針について

佐藤 龍彦 新型コロナウイルス感染拡大による影響と本市の対策について

菊地 忠久 スマートインターチェンジの周辺整備について

伊藤 勝美 山田市長の政治姿勢について

森 建人 新型コロナウイルスワクチン接種について

高橋 鈍斎 市長選挙と選挙公約について

大森 貴之 防災・減災における市道の整備について

佐藤 秀行 交通安全対策について

四竈 英夫 福島県沖を震源とする地震への対応について

令和3年度施政方針について

佐久間 儀郎



〔質問〕スマートインターチェンジの整備は、交流人口や関係人口の拡大と、円滑な物流の確保など地域間の相互連携により相乗効果を生み出す「地域活性化の起爆剤」として、地元企業からも大きな期待が寄せられており、中心市街地の活性化や観光振興など、さまざまな効果が期待できると述べられている。

そして、これを踏まえ新たな工業団地の整備を推進するものとされている。

新年度から「スマートインターチェンジ・企業立地推進室」が新設され、中心となって整備事業に取り組んでいくものと考えますが、周辺地域の整備と工業団地造成などの構想について、具体的にどのように進めていく考えか伺う。

〔答弁〕市長「スマートインターチェンジの共用と同時に効果が発揮できるよう、周辺整備を進めていかなければならないと考えているが、現時点で具体的な施設や規模は決まっていない。

現在、有識者による周辺整備活性化検討委員会を立ち上げ、あらゆる角度から議論をいただいているが、スマートインターチェンジによるさまざまな効果を最大限に発揮できる機能を持った施設であるべきと考えている。

選挙公約にも掲げ

せていたのだが、工業団地の他に、観光振興や中心市街地の賑わい創出の観点からも、地域の情報発信ができる道の駅や、高速道路の利便性をさらに生かし、交流人口拡大にもつながる市民の生涯スポーツの場としてのパークゴルフ場を候補として考えたところである。

いずれにしても、現在進めている周辺整備活性化検討委員会から出される整備のあり方、方向性が、今後、周辺整備の施設メニューを決定していく上での判断材料となる。

引き続き議論の行方を見守っていくとともに、方向性が示されれば、さらに整備手法や事業戦略などの検討も踏まえ、地域活性化に資する実現性の高い施設整備に努めていきたいと考えている。

令和3年度施政方針について

高子 秀明



〔質問〕第六次白石市総

合計画基本構想・基本計画に掲載された、まちづくりに対する市民意識アンケート調査結果を見ると、「満足度・重要度」の項目において、「働く場」「地域の医療」「交通の便」「子育て環境」などの8項目については、満足度が低く重要度が高くなっており、市民生活の不安要素となっている。手厚い施策を早急に行うべきと考えられるが、市長の見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕アンケート調査の結果から、市民生活における不安要素については認識している。

第六次白石市総合計

画の策定に当たっては、アンケート調査による市民意識、本市の特性や課題などを踏まえ、施策を掲げている。

満足度が低く、重要度が高い8項目の施策については、着実な推進に努めることで、市民の満足度の向上につながることを考える。

〔質問〕市長は施政方針において「少子高齢化による税収の減少や社会保障費の増加、公共施設等のインフラ更新など、不安定な財政状況に陥ることが懸念され、地域社会で発生する課題の解決に向けて行政がすべてを対応することとは困難になっている」とする一方、「令和3年度からの10年間で、市は大きく発展する」と掲げている。

この「困難」と「大き

な発展」、相反する言葉は整合性が取れているのか、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕本市のみならず、地方財政は二層厳しさを増すことが予想され、地域社会での課題解決を行政がすべて対応することは困難であると考ええる。

第六次白石市総合計画の重要戦略の一つとして、地域づくりへの支援を通じ、地域による主体的な活動を牽引するリーダーの育成に取り組み、地域住民主体の地域づくりを推進することが重要と考えている。

当然、地域に任せ、行政が何もしないのではなく、必要な支援は引き続き行う。

10年間で、計画に掲げた分野目標や重点戦略を着実に推進することで、市は大きく発展するものと考えていることから、「困難」と「大きな発展」という言葉の整合性は取れていないと考えていない。

令和3年度施政方針について

松野 久郎



〔質問〕令和3年度の予算編成に当たって、市長の所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕新型コロナウイルス感染症による経済の低迷により、市税で約1億5千万円の収入減が見込まれる一方、令和3年度は新たな総合計画である第六次白石市総合計画がスタートする。

これからの白石市を創っていくための節目の年であることから、大変厳しい予算編成となつた。

〔質問〕学校教育の充実について、これまでの効果を踏まえ、今後の具体的な取り組みを伺う。

〔答弁〕〔教育長〕授業改善や児童・生徒一人一人のつまずき解消に取り組んだ結果、学習内容の定着を表す達成率の改善傾向が見られた。特に、義務教育の最終学年として、とりわけ重視してきた中学校3年生においては、市の平均が全国平均を超える結果となり、学力の大きな伸びが見られた。令和3年度からは、本市独自の教育課程を編成し、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指していきたいと考える。

〔質問〕地域づくりについては、これまでも「まちづくり交付金制度」を導入し推進してきたが、これまでの施策と大きく変わる点を伺う。

〔答弁〕〔市長〕変更点については、交付金の利便

性を高め、地区での決定を尊重する観点から、審査会を廃止する。

地区が選定した事業への交付を尊重することで、住民自治力を育みたいと考えている。

また、交付金活用団体の事例発表や、ホームページでの公表を行なっていく。

〔質問〕商店街の活性化について、どのように取り組み、賑わいを創出していく考えか伺う。

〔答弁〕〔市長〕地元商店組合などが行う事業に対する助成金の交付や、商店街のイベントなどに引き続き支援をしていく。

また、中心市街地の空き店舗などを活用した新規出店の際に、改装費の補助金を交付するなど、事業者への支援を行い、中心市街地の商店活性化につなげていきたい。

新型コロナウイルス感染拡大による影響と本市の対策について

佐藤 龍彦



〔質問〕新型コロナウイルス感染拡大により、世界経済に大きな影響が出ている。

〔答弁〕本市においてもその影響は大きく、市内事業者の皆さんからも、「昨年の暮れから客の入りが大幅に落ち込んでいる」「2年が明けても客が来ない」「資金繰りが本当に大変だ」「市は支援策を検討してほしい」といった切実な声が寄せられている。そのような状況を受け、飲食店を中心として全国的に支援をする自治体が増えている。現在の本市の経済状況について、どのように分析しているのか伺う。

〔質問〕本市の新型コロナウイルス感染拡大による影響について、市内事業者の経済的損失を、市として調査しているのか伺う。

〔答弁〕本市の新型コロナウイルス感染拡大による影響について、市内事業者の経済的損失を、市として調査しているのか伺う。
〔答弁〕〔市民経済部長〕市内全事業所を対象とした、企業活動への影響に関する対応などのアンケート調査は実施していない。
〔質問〕新型コロナウイルス感染症の影響により、著しく売上高が減少している事業者に対し、事業継続を支えるために支援金を給付した事

業継続支援金給付事業や、中小企業者に対する県制度融資、新型コロナウイルス感染拡大による影響などにより、市内事業者の多くが新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けて、売上高が前年同月比20%以上減少しており、非常に大きな影響があると認識している。

〔質問〕売上げが減少している市内事業者に対し、新たな支援金などの支援策を講じる考えはないのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕現在、国の令和2年度第3次補正予算に係る、新型コロナウイルス感染拡大対応地方創生臨時交付金の活用方法を検討している。

【その他の質問】

◎ スパッシュランドについて

◎ 本市の教育について

スマートインターチェンジの周辺整備について

菊地 忠久



〔質問〕選挙公約に掲げた重点道の駅整備構想について伺う。

〔答弁〕〔市長〕スマートインターチェンジの整備による交通便利性を最大限発揮できる新たな拠点整備として描くもの一つである。

具体的位置、施設の概要はこれから関係機関と調整していくが、防災機能を兼ね備えたものにしていきたいと考えている。

また、地域活性化の拠点となる効果的な取り組みを提案して、何としても国からソフト・ハード両面から強力な支援を受けられる、重点道の駅としての設置を目指していきたい。

〔質問〕現在、周辺整備活性化検討委員会での議論を進めているが、結論はいつ頃になるのか伺う。

〔答弁〕〔建設部長〕昨年12月から周辺整備活性化検討委員会を行っており、これまでに2回開催した。

最終的には4回ほど開催し、5月ぐらいには最終的な結論を出したいと考えている。

〔質問〕新たな道の駅整備は、しろいしサンパークと競合しないか、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕施設を具現化していく中で、事業手法と併せて検討すべき非常に重要な項目であると考えている。

仮に重点道の駅となれば、それぞれの施設の特徴、強みを活かし、相互連携を図りながら、

相乗効果で共に発展していくような施設を目指し、進めていきたい。

◎ 教育改革について

〔質問〕教育長の2期目にかける思いを伺う。

〔答弁〕〔教育長〕教育長として最も重要なことは、子どもたちが生きていく社会の変化や時代の要請を的確に捉え、教育施策に反映させることだと考える。

新学習指導要領の着実な実施を通して、一人一人の児童生徒が自分の良さや可能性を認識しながら、他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働し、持続可能な社会のつくり手となる能力を育んでいくことが求められている。

未来を担う子どもたちにとって、何が必要かを考え、必要な施策を果敢に推進していきたい。

【その他の質問】

◎ ふるさと納税を活用した支援について

山田市長の政治姿勢について

伊藤 勝美



〔質問〕山田市長は、市長選挙において、自らを

当選させてくれた市民の期待の根源は何であったと考え、その期待にどう応えようとしているのか、また、2期目に当たり、市政の諸課題に対し、どのような姿勢で取り組んでいくのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕大変厳しい選挙戦だったが、市民の皆さまからは、何としても刈田病院を守ってほしい、これまで以上に充実した診療機能を作り上げてほしいという期待の声を多く寄せていただいた。

政治家にとって大事なことは、しっかりと公約を実現することである。刈田病院の存続、工業

団地の造成による企業誘致、子どもたちの学力向上など、これまで培った全てを総動員し、公約実現に向けて邁進したいと考えている。

〔質問〕いろいろな政策を進めるに当たり、職員

の力なくして市民の福祉の向上はないと考え

る。そのためにも、職員をどう使いこなすが市長の仕事の一つであると考え

る。市民や地域のために、職員に何を望み、何を期待するのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕職員には、自らの使命を自覚し、さまざまな課題の解決に向け、失敗を恐れず積極果敢にチャレンジすることを望み、期待したい。

〔質問〕三元代表制の下、地方自治体をつかさど

るのは、行政、そして議会である。

市長は、議会に対し、どのような考えを持っているのか、また、議会に何を望み、何を期待するのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕議会は言論の府であり、議員の質問・質疑にしっかりと答弁し、議論を深めていくための機関が議会であると考える。

したがって、議員との議論をさらに深め、さまざまな市政課題を一つ一つ解決していきたいと考えている。

市民への説明責任という大きな役割を果たすためにも、議会と行政がそれぞれの権限を尊重し合い、しっかりと議論を深め、お互いが切磋琢磨し、市民および市政発展のため、共に最大限の努力をしていきたいと考えている。

【その他の質問】

◎山田市長の市長としての政治手法、良識について

新型コロナウイルスワクチン接種について

森 建人



〔質問〕ワクチン接種の目的は、感染予防なのか、発症予防なのか、重症化抑制なのかを伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕接種予定のワクチンは、ファイザー社製のワクチンで、新型コロナウイルス感染症の発症予防効果が約95%と報告されているが、感染予防効果については明らかになっていないことから、引き続き感染防止策を行う必要がある。

〔質問〕ワクチン接種の予約方法について伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕市が設置するワクチン接種予約コールセンターで、日時を予約していた

だということを考えている。

また、スマートフォンやインターネットを用いた予約システムの導入も検討予定である。

〔質問〕基礎疾患のある方として、14種類の病

気や症状が示されているが、対象者をどのように確認するのか伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕現在のところ、自己申告である。基礎疾患のある方は、予約の際に申し出ていただく、接種前の問診で接種可能かどうか判断される。

〔質問〕一般の方への接種も集団接種なのかを伺う。

〔答弁〕〔市長〕一般の方も、集団接種方式による実施を考えている。

ただし、個別接種方式による実施についても、現在医師会と協議を重ね検討している。

◎成人式について

〔質問〕成年年齢を18歳に引き下げることを内容とする「民法の一部を改正する法律」が、令和4年4月1日から施行される。

18歳、19歳、20歳の3年代が同時に成人になるが、令和5年以降の成人式の対象はどのように考えているのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕社会教育委員の意見や成人式を迎えた方々へのアンケート調査の結果から、式典は20歳がよいのではないかとこの意見をいただいている。

もし、3年代が同時に式典を行うと、一堂に収容できる会場や開催日時が問題となることから、対象を20歳とする方針を早急に決定し、広報しろいしやホームページなどで周知を図ってきたい。

市長選挙と選挙公約について

高橋 鈍 斎



〔質問〕 昨年11月の市長選挙は、4年間の実績のある山田市長と、短期間で準備した対立候補者との結果は僅差となり、非常に敵しかったと答弁されているが、所見を伺う。

〔答弁〕 【市長】 刈田病院の公設民営化を公約に掲げ、市民の皆さまの信任を勝ち取ることができた。民意を大きな推進力として、今後の市発展を成し遂げていく所存である。

〔質問〕 市長は「二元代表制の二翼を担っている議員と議論を深めたい」としながら、選挙用ビラに特定の議員と後援会を掲載したのはなぜか。

〔答弁〕 【市長】 ビラの掲載内容に特段の制限はないため、賛同者の氏名を掲載したものである。

〔質問〕 現職の議員と市長は友達関係ではない。各議員と後援会の3役にも承諾・確約を得て掲載したのか。

〔答弁〕 【市長】 議員有志で支援する会を組織していたこと、賛同を得たものと理解している。

〔質問〕 選挙用ビラに「県の強力な人脈を最大限に活かし」とあるが、公約にない刈田病院の組合解散、市立病院とする考えは、県と

のずれがあると思つ。その真意を伺う。

〔答弁〕 【市長】 七ヶ宿町長からの提案で組合を解散し、市立病院へ移行検討することになった

ものである。

〔質問〕 刈田病院の組合解散の件が、広報しろいしの一面に掲載されたが、市の広報紙への掲載には適さないのではないか。

〔答弁〕 【市長】 非常に重要な市政課題であることから、市民の皆さまに周知するため掲載したものである。

〔質問〕 同僚議員の報告に「2月18日の正副管理者定例会議で、蔵王町、七ヶ宿町が組合解散の同意を否定」とある。情報は広報紙にはなく、正確に市民に知らせるべきではないか。

〔答弁〕 【市長】 広報には原稿の校正期限があるため、更新された情報はその都度お知らせしていく。

【その他の質問】

- ◎ 新型コロナウイルス ワクチン接種について
- ◎ 第一幼稚園休園とその後について
- ◎ スパシユランドの現状とその後について

防災・減災における市道の整備について

大森 貴之



〔質問〕 市が責任を持つて管理・整備しなければならぬ路線のうち、市道福釜線については、市水道・二ツ森水源地への道路としても利用されているが、路肩付近が流水などでえぐられており、更なる悪化が懸念される。今後、どのようにしていくのか伺う。

〔答弁〕 【建設課長】 雪解けを待つて、再度現地を確認し、関係各部署と連携し修繕していきたい。

〔質問〕 白石駅歩道橋線（跨線橋）は、今後どのようにしていくのか伺う。

〔答弁〕 【建設課長】 現在、

補修工事のための設計を進めているが、JR東日本に工事を委託しなければならぬ区間もあることから、今後、協議を行い、補修工事を進めていく予定である。

◎ 公立刈田綜合病院に関する確認事項について

〔質問〕 「公設民営化」と「民営化」の違いについて伺う。

〔答弁〕 【市長】 公設民営化は民間譲渡とは全く異なるもので、病院設置者は地方公共団体のまま、病院運営を民間医療法人に代行させる手法であり、行政が責任を持って施設を維持することに変わりはないものである。

〔質問〕 昨年、整形外科の医師2名が退職された。その補充は大学病院側で行われるべきではないのか。

〔答弁〕 【市長】 医師の派遣は東北大学病院が責任を持って行うことになつており、早急な対応をお願いしているが、院長からは「そう簡単に補充できる状況にはない」と報告を受けているところである。

〔質問〕 医師が派遣されていない現状において、昨年、外部からの医師招聘を試みたとのことだが、その後について伺う。

〔答弁〕 【市長】 院長の面接までには至らなかった。院長には積極的に医師を採用しようという姿勢が見られず残念に思う。

〔質問〕 みやぎ県南中核病院との連携は可能なのか伺う。

〔答弁〕 【市長】 中核病院の企業長は「連携をしっかりしていたら、あれば、その経営形態は問わない」と述べられている。

補修工事のため設計を進めているが、JR東日本に工事を委託しなければならぬ区間もあることから、今後、協議を行い、補修工事を進めていく予定である。

◎ 公立刈田綜合病院に関する確認事項について

〔質問〕 「公設民営化」と「民営化」の違いについて伺う。

〔答弁〕 【市長】 公設民営化は民間譲渡とは全く異なるもので、病院設置者は地方公共団体のまま、病院運営を民間医療法人に代行させる手法であり、行政が責任を持って施設を維持することに変わりはないものである。

〔質問〕 昨年、整形外科の医師2名が退職された。その補充は大学病院側で行われるべきではないのか。

〔答弁〕 【市長】 医師の派遣は東北大学病院が責任を持って行うことになつており、早急な対応をお願いしているが、院長からは「そう簡単に補充できる状況にはない」と報告を受けているところである。

〔質問〕 医師が派遣されていない現状において、昨年、外部からの医師招聘を試みたとのことだが、その後について伺う。

〔答弁〕 【市長】 院長の面接までには至らなかった。院長には積極的に医師を採用しようという姿勢が見られず残念に思う。

〔質問〕 みやぎ県南中核病院との連携は可能なのか伺う。

〔答弁〕 【市長】 中核病院の企業長は「連携をしっかりしていたら、あれば、その経営形態は問わない」と述べられている。

交通安全対策について

佐藤 秀行



〔質問〕福岡公民館方面

の市道陣場ヶ丘4号線から県道白石上山線に接続する丁字交差点は、カーブミラーは設置してあるが、付近の構造物などで見通しが悪いことから、道路の拡幅や、信号機の設置などの対応が必要ではないかと考える。

改めて市から大河原土木事務所に、交差点改良の要望を引き続き行なっていたいただきたいと思うが、いかがか。

〔答弁〕〔市長〕市では、平成29年度に道路管理者である大河原土木事務所と現地確認を行い、交差点改良などの要望を行なっているが、改めて県や白石警察署、地元自治会など関係機関と合同点検を行い、交差点の安全対策について相談していく。

非常に見通しの悪い交差点で、事故も発生していることから、再度大河原土木事務所に交差点改良の要望をかけていきたい。

〔質問〕交通安全対策について、今後の具体的な取り組みを伺う。

〔答弁〕〔市長〕地域や学校、道路管理者、交通管理者など、関係機関の連携体制を構築して進めていくことが重要であり、交通安全週間や各種キャンペーンなどのソフト面と、道路整備などハード対策一体となった取り組みを行う必要があると考えている。

◎市の教育方針等について

〔質問〕教育長が今後3年間で目指すもの、取り組みもうとしているものは何か伺う。

〔答弁〕〔教育長〕子どもたちに将来、自らの夢や志を果たす力をしっかりと身に付けさせることが使命だと考えている。

特別支援教育の充実や、ICTを活用した不登校児童生徒の学びの確保、非認知能力の育成に重点を置いた学力向上により一層取り組んでいく。

また、本市独自の教育課程を編成し、小学校低学年から英語教育を実施するとともに、幼児教育の充実、子どもたちの学びの環境整備に取り組んでいく。未来を担う子どもたちにとって何が必要なのかを考え、そのために必要な改革を果敢に推進していきたい。

福島県沖を震源とする地震への対応について

四 電 英 夫



〔質問〕2月13日に発生した地震で被災された方への対応を伺う。

〔答弁〕〔保健福祉部長〕災害救助法の適用がないため、市独自の災害見舞金支給要綱により、全壊家屋5万円、半壊家屋3万円を支給する。

〔質問〕被害があった市の施設への対応を伺う。

〔答弁〕〔市長〕応急措置が必要な修繕については早急に、時間を要するものは国などへ支援を要望しながら、令和3年度予算で対応したいと考えている。

◎本市の農業施策について

〔質問〕農業は生命を支える食料を生産するとともに、経済を支える基盤産業である。昨年実施した全農家対象のアンケート調査結果を踏まえ、市の農業施策の方針を伺う。

〔答弁〕〔市長〕人・農地プランの実質化のため、地域の中心となる経営体への農地の集積、地域農業の在り方などについて話し合いを進めていく。また、新規就農者への就業計画の作成支援、農地のあっせんなど、担い手の確保に努めていく。

〔質問〕高齢化や後継者不足の中、受託組織(共業組合)や個人受託者の役割は大きい。これらに対する支援策はあるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕将来の農業の担い手を確保するためには、受託組織や個人受託者は大きな役割を果たしている。国・県などの補助事業の活用も視野に入れながら、新しい経営形態への取り組みを支援していきたい。

〔質問〕コロナ禍における児童・生徒の心のケアと、自殺者根絶を図るための対策を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕自殺に係るような報告はないが、児童・生徒の悩みに耳を傾け、心に寄り添うことが大変重要であると認識し、変化を見逃さないよう校長会などで指示している。日常の観察や対話、毎月のアンケートで気になる場合は個別に対応していく。

【その他の質問】

◎公文書への押印省略の対応について

◎マイナンバーの交付申請の啓蒙について

人事

2月定例会において、次のとおり選任・推薦することに同意しました。

〔教育長〕

(任期：令和3年4月1日～令和6年3月31日)
半沢 芳典 氏

〔人権擁護委員〕

(任期：令和3年7月1日～令和6年6月30日)
日下 嘉充 氏

6月定例会は、6月7日(月) 午前10:00開会予定です

インターネットで議会中継や録画映像の視聴もできます。

- 2月全員協議会の傍聴者数 6人
- 2月定例会の傍聴者数 29人
- 3月全員協議会の傍聴者数 5人
- 中継・録画視聴者数 6,703人 (2月・3月)

◆◆◆ 令和2年 議会の活動状況 ◆◆◆

令和2年は、4回の定例会(2月・6月・9月・12月)と3回の臨時会(5月・8月・11月)が開催されました。その概要は次のとおりです。

◎議会の開催状況

会議名	招集回数	会期日数
定例会	4回	59日
臨時会	4回	※3日

※第445回臨時会は、市関係者の新型コロナウイルス感染が判明したことから、感染拡大防止のため中止しました。

会議名	開催日数	会議名	開催日数
本会議	22日	特別委員会 予算審査	5日
		特別委員会 決算審査	2日
議会運営委員会	25日	スマートインターチェンジ設置推進	2日
常任委員会	6日	総務産業建設	8日
		議会広報委員会	4日
		厚生文教	9日

◎提出議案の状況 [単位：件]

市長提案議案							
条例	予算	人事	契約	専決	決算	その他	計
44	36	8	2	13	2	4	109

議員提案議案				
条例	意見書	決議	その他	計
2	7	0	0	9

請願
0

◎議案等の議決状況 [単位：件]

原案可決	修正可決	同意	認定	承認	採択	不採択	否決	計
93	1	8	2	13	0	0	1	118

◎議会の傍聴者数

男	女	計
99人	41人	140人

第447回 市議会定例会

意見が分かれた議案の賛否一覧

議決日	件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
				高子秀明	佐藤龍彦	伊藤勝美	澁谷政義	欠番	沼倉啓介	高橋鈍齋	小川正人	平間知一	保科善一郎	佐久間儀郎	四籠英夫	大森貴之	森建人	角張一郎	菊地忠久	佐藤秀行	松野久郎
2月17日	第1号議案 教育長の任命について		同意	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月10日	第25号議案 令和3年度白石市一般会計予算		原案可決	×	×	×	○	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

編集後記

今回の第201号「市議会だより」が皆さまのお手元に届くころには、新年度もスタートし、桜の木も青々とした葉桜になっていること存じます。今定例会は、市民および近隣住民の関心は高く、議会中継・録画再生数は6千700回を超えており、本市の動向を注視しているといえます。

本紙も併せてご覧いただきたく存じますが、今後も開かれた議会運営を目指して、皆さまへわかりやすく丁寧にお伝えしていきます。

また、行財政運営の問題・課題を市民とともに精査し、解決していくことが議会の使命であると再認識し、新年度を迎える所存です。何卒よろしくお申し込み申し上げます。

議会広報委員会

高子 秀明

議会広報委員会 委員

委員長	四竈 英夫
副委員長	平間 知一
委員	高子 秀明
委員	佐藤 龍彦
委員	伊藤 勝美
委員	高橋 鈍齋
委員	大森 貴之
委員	森 建人
委員	角張 一郎